

令和5年度まちかどミーティング会議録

開催日 令和5年8月22日(火)

地区 音羽町・木場町地区

会場 住吉コミュニティセンター

<意見交換>

◆市民 住吉町内会の・・・と申します。

市長さんとか役所の方にちょっとお話ししたいんですけど、コロナで11号棟と12号棟と外壁の塗り替え、遅れていますよね。それ、いつ頃にできるのか、ちょっと知りたいなと思っていて、よろしくをお願いします。

○司会 市営住宅の外壁の塗り替えということでよろしいでしょうか。

それでは、担当のほうから回答をお願いいたします。

◎住宅課長 住宅課長をしております南川と申します。よろしくをお願いいたします。

今現在、市内全域のちょっとこういう古い住宅、昭和に建てられたような住宅については、順次、改修作業というのを行っております。

一方で、エレベーターなんかも平成に入ってからつけられている住宅が多いものでして、ちょうど今、30年ぐらいが経過しております、こちらも同時に更新時期を迎えているということで、かなり今の現在の時点で、直さなければいけない住宅というのが非常に集中しているという状況でございます、これは全体の予算のこともございますので、順次、優先順位を見極めながら進めさせていただいております。

ただ、我々も住宅の長寿命化ということで、直していかなければ、例えば事故の原因になったりですとか、そういったものもございます。大がかりな外壁の修繕に至るまでは、補修係という担当がございますので、何とかその修繕の中で、事故につながらないように対応してまいりますので、もう少々お時間をいただきたいと思っております。よろしくをお願いいたします。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 はい、分かりました。

◎市長 現時点で、今の当該地区の具体的なスケジュールはまだ伝えられないのか。

◎住宅課長 お金の話になってしまうので、そこは。我々は今、順次、設計を自前で進めたり、タイミングが合えばすぐにできるように準備だけは整えておりますので、そこは全体のお話もございまして、また決まりましたら。例えば、駐車場をちょっと移動していただいたりだとか、そういったご協力もお願いいたしますので、早い段階でお知らせしたいと思っております。

○司会 それでは、ほかに。

はい、お願いいたします。

◆市民 住吉町内会の・・・と申します。

交通安全対策についてちょっとお願いというか、回答を今すぐというわけじゃないんですけど

も、実はそろそろ3年になるんですけども、高速道路の中央インターが開設されて、私も何回か利用させていただいたんですけども、快適だなと思っているんですけども、実はコミセンの前の道路、双葉三条通りとバイパスをつなぐ300メートル足らずの道路なんですけども、コミセンと住吉3号公園の間に位置している道路なんですけども、実は、通勤時間帯、特にひどいのは夕方の4時半から6時半ぐらいに、バイパスが渋滞するものですから、迂回路として双葉三条通りに抜けると、真っすぐ糸井方面に行けるという利便性から、交通量がすごく多くなっているんですけども、私も車を運転するから迂回するとか、回り道するというのは別に問題ないと思うんですけども、最近、そのスピードが異常なんです。

ですから、40キロ道路に指定されているんですけども、実際のところ、60キロは出ていると思います。ほとんどの車が。そして、それが年々ひどくなってきて、最近、日中でも公園から子供が道路を渡ろうとしたら、待っていたら、普通なら止まっていたかといいいんですけども、クラクション鳴らして通り過ぎていくんですよ。

一方、西側の児童センターのところには押しボタンの信号がついてるので問題ないんですけども、公園のこのコミセンには図書館があって、子供の行き来が結構あるのに、すごく危険な道路、横着な運転手が多いということもあると思うんですけども、そこら辺をちょっと考えていただきたいなということで。

○司会 ありがとうございます。ただいま道路の交通安全対策についてということで、市のほうから回答をお願いいたします。

◎市民生活課長 交通安全のほうを担当しております。市民生活課の畑島と申します。

ただいまありました住吉コミセン前のところ、300メートルぐらいのところということなんですけれども、抜け道での通勤時間帯のご利用ということで、交通量が増える時間帯が一定数あるということは、重々承知はしているところでございます。

その中で、苫小牧警察署のほうとも連携を図りながら、年々、交通規制で40キロのところ、スピードが上がっているというちょっとお話もございますので、改めて今のお話を警察署のほうにお話をさせていただきまして、例えばパトロールの回数を増やしていただくとか、そのような形を取りながら、まず、改善のほうをちょっと進めていきたいと思っております。

◆市民 すみません、何度もしつこく。

実は1年半ほど前に苫小牧警察署のほうにも私はお願いした。実際にお願いをして、警察は何をしてくれたかという、月に1回程度ですね、美園交番の交代勤務の軽パト、軽乗用車というんですかね、パトカーが月に1回ぐらいですよ、ただ通ってだけで、それ以外、何らかの対策だと住所も名前も電話番号も伝えてお願いしたんですけども、全くないです。反応は。ですから、そこを来年も少し警察と協力して、強く言っていただきたいなと思います。すみません、どうも。

◎市民生活課長 1年半前ですね、警察のほうにお話をされたということも含めまして、改めて私どものほうから、今日のお話、警察のほうにもお話をさせていただきまして、また、ちょっとその辺のパトロールをもう一度改めて実施していただけるようお願いするように要請していきたいと

思いますので、よろしくお願いいいたします。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。

一番前の方、お願いいいたします。

◆市民 住吉泉町内会の・・・です。よろしくお願いいいたします。

今の件で、昨年、この交通量の件でこのミーティングでお話ししたときに、市立病院の交差点のところの右左折の2車線化というのが、今、取り沙汰されているというお話を聞いたんですけど、その実現性はいつ頃になるのか、ちょっとお聞きしたいんですけど。

○司会 先ほどの質問に関連してということなのですが、市のほうから回答できますでしょうか。

◎道路建設課長 ありがとうございます。道路建設課の成田と申します。よろしくお願いいいたします。

今お示しいただきました、春日町から市立病院に向かっていきまして、通勤時だとかは左折が非常に混んでいる状況がありまして、過去に、過年度においては道警さんとも打ち合わせさせていただいております、その際、一応信号の現示のタイミング、こちらの見直しというのを既に行っていたというようになっておりますが、100%、なかなか通勤時間の渋滞というのは、解消されるには至っておりませんので、引き続き、道警さんとも、例えばタイミングをちょっとずらしてもらおうとか、例えば歩行者と車道の青時間をちょっと変えてもらおうとか、さらにはいろんな対策、まだ考えられることがありますので、そちら、引き続き協議のほうを進めさせていただきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いいいたします。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 2車線化というのはやらないんですか。

◎道路建設課長 新たに車線を造るというのは、なかなか交通安全上、警察のほうでも難しいという回答をいただいております。

以上です。

○司会 よろしいでしょうか。

それでは、お願いします。

◆市民 双葉町町内会の・・・でございます。

今回も出ております1番目の町内会促進条例の検討をいかがかという問題提起でございます。

私、これを特に感じておりますのは、ごみ有料化に伴いごみステーションのパトロールを、双葉町が、当時の会長が、ここの・・・さんが町連の副会長をされていたということもありまして、モデル地区というふうにされたということで、あのとき、ごみ箱のいろんな整備も含めてやりました。

そのときに一番感じましたのが、やはりアパートの方々の雰囲気でございますけども、要するに連帯意識といいますか、要するに自分だけよければいいという風潮が、まざまざとこのことについて見せられました。

でも、やっぱり町内会に入っていただくことは大事だというふうに感じまして、五、六年前から町内会加入促進班というのを立ち上げまして、チラシを作り、頒布し、会長をはじめ、五、六人のメンバーで、年に数回、戸別訪問いたしました。もうこれで5年目になります。

今年やりましたら、とても悔しいのは、また来たかと、前にも断ったと、こういう話ですとか、さらに恐ろしいのは、中にいらっしゃるにもかかわらず、対応していただけません。とんでもない、もう要するにうるさいと、はっきり言えばうるさいなど、いいかげんにしろと、こういうふうなんですよね。

ですから、これはもういけないなといって、今現在、毎月のように促進班のメンバーで会館に集まりまして、会議を持っております。今年、2回、回りました。

それで、ちょっと一段落して、9月の末、半年間かけてどういう状況になったかを一回調べ直そうという部分で、50%、いわゆる加入率50%を割っておりました。最初は百数十件入りました。50%を超えました。ところが、翌年には、今度はまた減るわけですよね。その繰り返しをやりまして、今現在、やっぱりちょっともう50%ぎりです。50%ということは、とんでもない話だと私自身は思っています。

それで、今年もこれからやろうと、こことはちょっと別件なんでしょうけども、どうしてせっかく入っていただいたのに継続しないかという、集金に来ないからとかという状況で、お金が返ってこない。自然消滅していたわけですね。

○司会 大変申し訳ないんですけども、ちょっと質問が長くなっていますので、簡潔にお願いします。

◆市民 今、当時は札幌市で2018年には市、71%の加入率なのに市の条例をつくるということで動いておりました。苫小牧市においては、双葉町だけかもしれません。ほかの町内会の加入率は、私は知っておりませんが、ぜひ、これは市民生活課でつかんでおられると思いますから、ぜひ、ひとつそのためにお力添えが欲しい。

町内会は、私は必要だと思っております。市行政をどの程度、つまり市長さんをはじめ、町内会についての理解が私としては熱意が感じられません。残念ながら、熱意が。そこら辺のちょっとご回答をお願いしたい。

以上。

○司会 ありがとうございます。要望番号の1番に関連して、町内会の活性化、町内会の理解についてということでしたので、市のほうから回答をお願いいたします。

◎市民生活課長 町内会の担当のほうをしております市民生活課の畑島でございます。

町内会の加入率の件でございますが、まず、双葉町内会のほうで、現在、50%前後の町内会の加入率ということで、非常に苦慮されているというお話でございますが、苫小牧市内全体におきましても、やはり町内会の加入率は年々低下している状況でございます。

そのような中で、やっぱり市として町内会の加入率をいかに上げていくか、これ以上減らしていかないというところの対策というのは、重々、必要であることは承知しているところでございます。

そのような中で、札幌市が先行して、町内会の加入促進の条例というのを制定していることも重々承知をしているところでございますが、市としても、まず、全庁的に実効性のある取組というのを進めている最中ということもあったんですが、近年のコロナ禍の影響もありまして、ちょっとその部分が少し停滞していたところもございまして、今年度に入りまして、各町内

会の活動も徐々に通常に戻りつつあるという中で、私どものほうも、まずはこの一定の形が見えてくるまで継続をしていくという中で、その間にほかのまちの条例の制定というのがどのような効果があるかというのを、改めてちょっとこちらのほうもいろいろ調べさせていただいて、今後につなげていきたいというふうに考えています。

◆市民 この話はもうかなり市民生活課の方、課長さんですが、前任者の方ともよくお話しているわけでございます。非常にのれんに腕押し状態でございます。私としては、私の感覚として物足りない。いろんな政策においても、私には町内会は必要だと、もしくは町内会の会員を増やさないか、その前に町内会が必要かどうかという部分は大変に危惧をしております。なくてもいいんじゃないかという状態が、今、全体に蔓延していませんか。そこら辺も含めて、もうちょっと抜本的なことを検討すべきだと私は思います。

◎市長 今、逆に様々なまちの流れ、歩みをつくるときに、やはり町内会さんと協働という言葉がよく出てきますが、しながら取り組んでいかなければならない時代だということは、市のほうも認識しています。

今、82町内会ありますが、令和5年、これ、カウントの正確さというはあるんですけども、平均の加入率が54.3%になっています。市内で一番加入率が高いのは、100%というところは大成公住、あそこが100%になっています。

ただ、あそこの場合は非常に特殊事情なので、町内会の戸建ての割合とか集合住宅の割合によって、一概に比較できないというところはありますけれども、平均で54.3%というのが令和5年度、多分4月のデータだと思いますけれども、半分になっている。低いところは多分30%ぐらいのところもあるかと思います。

これはもう大変憂えるべき事態だということもありますし、アパートの多いところは、どうしてもアパートの場合には、ずっとおられる方が少ないので、やはり何年かたったら、また次のところに転勤されるような方が利用するようなアパートは、これ、なかなか難しい。

一方で、そのアパートを持っている事業者の方が、入居するときに町内会に入ってくださいという声かけをして、ほぼ全部の戸数が入っているようなアパートもありまして、市のほうも、そういう事業者の皆さんに加入促進についてのお願いもしてきた経過があります。

これ、やっぱり少なくとも70%ぐらいの加入率が、過去のようにあってほしいなというふうには思っていますので、いろんな地区の皆さんの特性を生かしながら、市のほうでできることはやっていきたいなというふうに思っていますし、古い町内会と新しい町内会での加入率の差というところもありますし、古い町内会でも70%の加入率を示しているところもあれば、なかなかこれは一概に比較できないなというふうにいつも感じていますが、これからもこの10年ぐらい、議会でも出てきている。質疑の対象になっていますので、何とか加入率向上を目指してやっていきたいなと思います。

条例の話も出ましたが、これ、なかなか条例で罰則規定を設けることができないので、精神条例にならざるを得ないようなところがあって、他市の条例制定をして、どのぐらいの効果があつたか、瞬間的に効果があつても、やっぱり数年たつと戻ってしまうというような話も聞いたこと

がありますので、なかなかその辺のところ、今、担当が言いましたように、もっと今日的な現状を調査した上で、取組をしていきたいなということを感じながら、今、聞かせていただいております。

ただ、高いところは80%、さっき言った100%はちょっと例外として、高いところもあるということだけは知っておいていただきたいと思います。

◆市民 もう一つだけ、ごめんなさい。昔から言われております「向こう三軒両隣」という言葉と「住めば都」、それから、「遠くの親戚より近くの他人」これ、私は子供のときから、こういうところに住んでおりました。田舎に住んでおりましたから、この中で育ちました。今はそれがない。

隣の人は何をしている人か、苦小牧だけではありません。でも、苦小牧は特に、大変失礼だが、言わせてください。どちらかといえばですけども、割と新しいまちでございますから、特にこの雰囲気が強いですね。そんなこんなで、そこら辺を含めて、町内会の必要性についてもっと議論をして、この部分をしないと、根っこも大事だ。この辺、よろしく願いをいたします。

○司会 ありがとうございます。

それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。

一番左の列の方、お願いします。

◆市民 春日清水町内会、・・・です。

すみません、除雪の件なんですけど、また、毎回、除雪の件は言わせていただいているんですけども、今回、2月に大雪が降ったときに、除雪をしてからちょっと出かけなければいけなかったんで、私の場合。出かける前に、帰ってきたときに入れないと困るので、全部きれいにしていったんですけども、全部ぼこぼこに雪を置いていかれたんですね。車庫に入れられない状態になったんですよ。もう遅い時間だったので、削っても削れないです。私の力では。

ほかのところもすごくて、皆さん、お年寄りなんかは特に力がないですからできないですし、みんな、すごく今年も困ったんですね。それをちょっと何か毎年、すみません、言っているんで、ここに来るたびに、何か除雪の件を出しちゃうんですけども、本当にすごく困っていて、何とかしていただきたいなど。

○司会 ありがとうございます。除雪の件についてということで、市のほうから回答をお願いいたします。

◎維持課長 市の除雪に携わっております維持課の小田と申します。

いつも市の除雪に関しまして、今、お話しいただきましたように、皆さんにご苦勞をおかけしまして、大変恐縮している次第でございます。

今回のお話しいただいた間口の話なんですけれども、高齢化が進んできまして間口の雪がよけられないという話も、最近かなり出てきております。

日中ですとか、夜間に凍って、こういうふうの間口の雪がどけられないということがありましたら、市のほうでも個別に、全部一遍に対応というのはなかなか難しいところではあるんですけども、市のほうにお電話いただきますと、まず、うちの職員が向かいまして、状況を確認させていただきます。

人力で、職員もスコップを持っていますので、それによければ、そういう対応をさせていただきますし、それが無理であれば、動いている業者さん呼びまして個別に当たるということもやっておりますので、糸井の事務所が73-5000番、そちらに連絡いただきましたら対応できるように整えておりますので、何とぞお願いできればと思っております。

◆市民 それ、電話したけど、出なかったんですよ。その日が、皆さん、帰られていまして。

◎維持課長 そうですか。

◆市民 はい。帰られていて、本当にきれいにしていたんですよ。それ以上になっちゃうと滑ったりするので、うちのところが。家の前とかは、皆さん、個別でやってくださいみたいなこと言われているんですけど、車庫の前は、うちはそこがきれいにならないと入れないんです。すごく低いので。

出られなくなったこともあるので、そのたびにお話ししていて、だから、除雪の方は、皆さん、うちのクレームのことをよく知ってらっしゃるぐらいにすごいんです。ただ、本当に遅くなるので。大体夕方から出てくんだけど、これから除雪に入るよと聞いていたんですけど、うちの前は本当にきれいにしていたんです。

けども、すごく大きい石の灯籠みたいなものがごろんごろんとあつて入れなかった。たまたま近所の方が帰ってきたので、若い男性の方だったので、空けてもらったという状態なんですね。だから、それもすごかったし、連絡がつかなかったし、次の日はもう溶けているところにいらしても意味はないと。回っていただきたいです。

◎維持課長 除雪作業なんですけど、全市除雪に入りますと、大体20時間ぐらいかかりまして、その後いろいろ、そういったご要望をいただくので、そういった対応をしているんですが、状況によっては、職員も一通り除雪が終わったということで帰ってしまう場合もございます。

その場合につきましては、今度、市の代表に電話いただきますと、私ども緊急の職員を配置しております、そちらに連絡が行くようになっています。場合によって、車が入らなくて困っているということであれば、また緊急で対応させていただきますので、市の代表のほうにご連絡いただければ。

○司会 この後、もし何かございましたら、直接担当のほうとやり取りをお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

◆市民 うちだけじゃないので、うちの周りの町内の方たち、みんなそうなので、だから、その辺をもうちよっと考えていただきたいなど。

○司会 周りの方も、皆さん同じようなことになっているということで承知いたしました。ありがとうございます。

それでは、ほかにごなにかいらっしゃいませんか。

まだご発言されてない方、優先させていただきます。

◆市民 住吉泉町内会の・・・と申します。

先ほどの交通量の話とちょっとダブってしまうんですけども、昨年も同じお願いをしていたんですけども、学校関係者や児童センターの利用者の意見を伺いながら、持ち帰って検討したい

という返答だったんですけども、その意見の内容だとか検討内容をお知らせいただけますでしょうか。

○司会 昨年度の回答について、どのような意見交換があったかという趣旨でよろしいですか。

◆市民 はい。

○司会 市の回答、大丈夫でしょうか。

◎市民生活課長 市民生活課の畑島と申します。

昨年、児童センターの向かいの辺りの交通量のお話で持ち帰らせていただいた件かと思えます。その話をお受けした後に、近隣の学校の関係者と、あと児童センターのほうの施設の職員と、あと利用している方にもちょっとお話をお聞きをさせていただきました。

その中には、利用する歩行者に関しては、やはり交通量が例年多いということを知っているということもあって、気をつけながら歩行されているという意見もあったんですけども、先ほどのコミセンの前と同じように、抜け道として多く使われている時間帯が一定時間あるということと、その間、やはりスピードが上がって、車両が通っているということもお話としては出てきているところでございます。

そのような中で、警察署のほうにもお話はしているんですけども、新たな交通の規制というのは、これ以上は、今、現状としては難しいということでご返答はいただいているところでありますので、今のところは、今の状況をまずこのままちょっと見ながら、何か別な対策が取れないかということ、先ほどのお話も含めまして、改めてちょっとお話はさせていただこうとは思っております。

◆市民 まだよろしいですか。今朝も、新学期が始まったので、児童センターの前と双葉三条通りのT字路のところですね、そこの安全指導に立ち会ったんですけども、やっぱり西のほうから左折してくる抜け道状態ですね。その車が、20分ぐらいの間で160台以上左折して入ってきます。旗で誘導しているんですけども、やっぱりちょっと間が空いていると、どうしても車が無理に入ってくるような状態があったりします。信号だとかという対策は、毎回、難しいというお話は聞いているんですけども、横断歩道にするということはどうなんでしょうか。

○司会 市のほうからの回答、大丈夫でしょうか。

◎市民生活課長 先ほどもお話したとおり、なかなか要望のほうは厳しいということのお話はしたんですけども、横断歩道の設置ということに関しましては、今ここでちょっと新たに出てきた要望内容ということでもございますので、その部分に関しては、改めてもう一度、ちょっと場所と横断歩道の設置を希望したいというところの場所を確認させていただいた上で、改めてそこを個別に警察署のほうに確認をさせていただこうとは思っています。

それと、時間帯に関しましては、朝の通勤の時間帯は特にやはり抜け道として、ここの場所に限らず、抜け道として使われている多いポイントが市内に何か所かあるということで、各地域の皆様からもお聞きしていることもございますので、その件も含めまして、ちょっとこの件は個別にお話をさせていただこうと思っております。

◆市民 この後は個別ですか。

◎市民生活課長 そうですね。改めて、ここに横断歩道が欲しいという場所をちょっと確認をさせていただいた上で、私のほうから警察署のほうにちょっとお話をさせていただきたいと思います。

◆市民 分かりました。

それと、先ほどの児童センターの利用者等の話は、現状では問題ないような話ということでしょうか。

◎市民生活課長 お話としてお聞きしている中で、学校の関係者、利用者のほうから、その部分の改善を求める声は、今のところは出ていないというふうに私どもはお聞きしているところです。

◆市民 そうですか、分かりました。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。

1回目、まだ発言されていない方で、もしいらっしゃらなければ、2回目をお受けしたいと思います。まだ1回も発言されていない方でよろしいでしょうか。

それでは、前から2列目の男性の方、お願いします。

◆市民 双葉町の・・・でございます。2回目で申し訳ありません。

これも要望書ナンバー2に載せているものでございます。このお話も、もう本当に早い、何年に言ったかを忘れるぐらい昔から、市役所の方々にお話し申し上げていたんでございますが、そろそろもう限界じゃないのかなと。

それで、市長さんをはじめ、ご存じだと思いますが、この返答書によりますと、所有者というふうを書いてあったり、文書とかは適正管理を求めていると、到底こんなことがかなう相手ではございません。もう債権自体が分散化して、アメリカまで債権が個別に出ているという不動産会社の社長から最新情報が来ております。あそこを担当している不動産会社ですね。そういう話を私は聞いておりますから、もうこれ普通ではできないんじゃないかというのが私の浅はかな知識でございます。

ですから、市長さんをはじめ、これ、大問題として取り上げていただいて、市だけで解決するようなことではないんじゃないかなと、額も額ですし。

それから、あの場所、双葉町の一丁目1番地です。36号線のあの大きなカーブで、あそこを見たら分かると思いますが、いやいや、双葉町に入ってきて、要するにあの36号線はあの角を曲がるときに、今はもう草がまた生えていますし、木も生えております。今度は林になっていますけど、ああいう状態のままで、双葉町の、大変、市長、ごめんなさい。ゼロごみ推進を、まちをきれいにというお話の公約には大幅に反することではないでしょうか。一番大きいごみだと思うんです。

ですから、これは衆議院議員の秘書の方にもお話し申し上げました。今は辞められた道議の方の事務所にも行って、お話しいたしました。これ、普通ではできない扱いだと、私は感じております。

このことについて、今言う適正な管理とは、管理は、あそこを花壇とか何かによればいいんでしょうけども、それだって本当は問題ありますよね。相手が分からない中、借りていいのかと、中に入っていいかということ自体が、市はできるかもしれませんが、あれの中に入って誰がどう

するのか等を含めて、よくよくと大問題として取り上げるべきだと思います。

これについて、衆議院議員、参議院議員のここ選出の方々、道議も含めて、どういう考えをしていらっしゃるか、これは私自身は返答書が欲しいぐらいの話だと、この話は、大変失礼な話、市長さんだけでは、これ、できないと私は思います。国費を使わないとできないんじゃないかというふうな感じがします。

以上です。

○司会 要望番号の2番、エスター苫小牧ビルの解体についてということでしたが、市のほうから回答できますでしょうか。

◎市民生活課長 市民生活課の畑島でございます。

エスタービル、今、入居者不在の建物の維持管理、今後の在り方というところなんですけれども、文書のほうで回答をさせていただいたとおり、文書で適正管理を求めるということはやっているとありますが、なかなか相手方からの反応もなく、今、現状に至っているというのが状況でございます。

そのような中で、今、私どもとしては相手の所有者がある限りは、やはり相手方のほうに適正な維持管理を求めるということだけは、まず、やっていかなければならないということになりますので、先ほど所有者の権利のお話もありましたが、個人情報のお話もありまして、細かいところ、この場でちょっとお話しすることはできませんけれども、所有者の情報をつかみながら、私どもとしては、所有者がある限りは、それは続けていかなければならないというふうに考えております。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 所有者は当然、北海道にいませんよね。それ、分かっている、今のお話でしょうか。

○司会 あまり個人情報というか、細かい話はちょっとできませんので、すみません。

◎市長 今、コンプライアンスの時代と言われていて、法律を超えて、行政が国であれ、道であれ、市であれ、手を突っ込むことができない時代ですので、今、言えることは、担当が言っているように、所有者は分かっていますので、粘り強く所有者に行動を求めるといふしかないんですよ。

新しい法律でもつくってもらって、何年、そういう状態でぶっ飛ばしたら、行政が勝手に収用していいよという法律があれば、やりたいと思っていますけど、なかなかそれはできないです。

最初は、あれ、金融機関が造ったビルですから、まさかあんなになるとは誰も思っていなかったわけです。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいますでしょうか。

それでは、一番前の女性の方、お願いします。

◆市民 住吉町内会の・・・と申します。

市営住宅、随分空いて、私たちも自治会費を集めたり、共益費を維持していくのも大変なんですけども、きれいに、住んでもらって、市長さん、どうなんですか、入居予定。

○司会 市営住宅の入居予定ということで。

◆市民 入居の予定、入居の予定はありますか。

◎市長 入ってこないという話。

◆市民 入ってこないです。

◎住宅課長 住吉町の一丁目のお話ですよ。

◆市民 そうです。

◎住宅課長 一部、実は入居制限をかけておまして、これ、何のために入居制限をかけているかといいますと、先ほど言った改修ですとか、あと建て替えするときに、ほかの地区にお住まいの方を一時的に入れてさしあげる場所として、ある程度、数を用意しておかなければ、まず、その方たちの行き場所がなくなってしまうということで、一定程度の制限をかけさせていただいております。

ただ、このエリアは非常に人気の高い地域でして、毎年、私たちが募集している以上にお申込みをされているという状況ですので、私のほうで止めているもの以外については、100%を超えるような形で申込みがありますので、今、その制限かけさせていただいている部分に関しては、今後、山手町の大きい高層住宅ですとか、あと大成町のトライアルというお店あるんですけども、あそこの上ですとか、結構大人数が入っていらっしゃる住宅の建て替えだとか解体というのを予定しておりますので、ちょっともう少々、その方たちが移転されるまで、ご辛抱いただきたいなと思っております。

あと、共益費の徴収の部分ですね。制限をかけさせてもらっている分については、私どものほうで電気代だとか、不足分のほうをお支払いさせていただいております。

あと、集めるのが大変ですよというようなお話なんかもあると思うんですけど、そちらについても、今、内部でちょっと、市のほうで何とか徴収についてご協力できないかというようなところも、今、検討段階ですけども、やっておりますので、そちらのほうもある程度、考え方がまとまりましたら、各自治会にご案内させていただきたいと思っておりますので、もう少々、お時間いただきたいと思います。よろしく申し上げます。

◆市民 分かりました。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。

なければお時間が近づいてまいりましたので、終了したいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして意見交換を終了させていただきたいと思っております。

最後に、本日のまちかどミーティングの終了に当たり、岩倉市長よりご挨拶させていただきます。

◎市長 本日は、ご熱心にいろいろ質疑をさせていただきまして、ありがとうございました。

今日がスタートで、最後は10月までかかるんですけども、今、82町内会、全部で16地区、今年はチャレンジをしていきたいなというふうに思っています。

実は、今日、山本副市長が来ていますが、1回も発言がありませんので、最後は、山本副市長からお礼のご挨拶をしたいと、申し上げます。

◎副市長 今、市長からご指名いただきました、副市長の山本でございます。

本日は、皆様、本当にお暑い中、このようにお集まりをいただきまして、また、貴重なご意見

を頂戴しましたこと、改めましてお礼を申し上げたいと思います。

特に双葉町内会の・・・様から、町内会の問題点等々、ご提案等もいただきました。実は、私自身も町内会、隣の三光町内会なんです、役員をやらせていただいています、・・・さんをはじめ、各町内会さんの役員さんのご労苦、大変身にしみるといいますか、自分のことのように感じているところでございます。

条例化というのが、本当にどこまで効果があるのかというのは、まだまだ検証が必要とっております。例えばアパートの事業主に対して、町内会に自分が経営しているアパートの住人の方に、町内会に加入するよう、責務を課している条例をつくっているまちもあれば、いろんな形の条例がありまして、本当に何かどのような条例が、仮に苫小牧市でつくるとしたら必要なのかということも、まだまだ検証していく必要があるのかなと考えている次第です。

そういった意味では、これからまだまだ各町内会さんのご協力が必要とっております。本当に向こう三軒両隣という地域づくりが、これからの高齢社会を支えていく礎になるというふうに私どもも認識しておりますので、引き続きですが、ご協力を賜りますようよろしくお願いします。

あとは今日、私どもの若手職員、DJゼロカーボンということで、非常に才能があるなど、私なんかは本当に羨ましく思っておりますけども、これから若手職員、今日のこちらの会場を皮切りに、ゼロカーボンについても、市民の方々のご理解をいただけるように取り組んでいくところでございますので、皆様も今日聞いた内容でいけるところから、ご協力をいただければと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

○司会 以上をもちまして、まちかどミーティングを終了いたします。皆様、誠にありがとうございました。